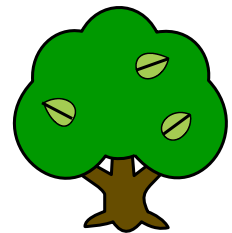




ちょっとまって！ その…

先日の大掃除の時、花心で玄関前の落ち葉と枯れ枝の清掃をしていました。集められた落ち葉等を久野さんが塵取りに入れ、ビニール袋に入れようとしていました。ちょっと手間取っていましたので、職員が手を貸そうとしました。「ちょっとまって！」と私は職員の手伝いを止めました。



ちょっとの間をおいて、久野さんから「おねがいします」の聲がかかりました。私はこのことばが欲しかったのです。手伝ってあげるのは簡単なのですが、困っているのを見ぬふりしてと思われる方もおられるかもしれませんが、久野さん自身が困って助けを求めたということが大事だと思っています。

こんなことがありました。支援学校から実習に来られ、最終日にお母さんもあいさつに来られました。一緒に帰られるとき、子どもさんが上靴を脱いで手に持つと、すかさずお母さんが子どもさんの上靴を持って玄関の方に行かれました。子どもさんはリュックを持っていたので、その中に入れたらいいはずなのですが…。

私たちの利用者さんとのかかわりの中に、こんなやりとりがたくさんあるのではないかと振り返ってみる必要があります。利用者さんができること、利用者さんがすべきこと、私たちが手を出すことではないように思います。見守ることも大切な支援だと思っています。ご家庭の方ではどうですか。

よく吸います 油取り

さくらグループの作業活動のひとつに「牛乳パックの再生」があります。

ラミネートを剥いで小さく細く切って、紙漉きができるようにします。紙すきをした和紙をカバーから取り出すのをMさんがしています。とっても器用に振って水けを少し取り、カバーからでき上がった和紙を取り出していきます。真剣に取り組む姿は印象的でした。

その和紙をジューサーにかけると、ふわふわの和紙になります。それをパックに詰めるのがKさん。ギュッギュッと詰めていくと、ふわっとした油取りの完成です。これがよく油を吸い取るから不思議ですね。使われたことありますよね。

大津養護学校で進路を担当していた時に、人吉の施設でやっておられたことを学校でも取り入れてみました。KさんやMさんもやったことがあるんじゃないですか。ちなみに、その時の商品名は「油取りごっくんスースースー」。



コーヒータイム

ほとんどのグループで、活動の合間にコーヒーやお茶を飲んで一服するひと時が設定されています。とってもいいことではないかと思っています。

「コーヒーにしますか、お茶にしますか」と注文を聞いて準備をするのが花心の毎日です。この時期になると、コーヒーもホットとアイスに分けて準備されます。

この日は北里さんの当番でした。湯呑にいっぱいずつ、お盆に載せて2階まで運びます。こぼさずに行けるのが北里さん。「持ってきましたよ」皆さんが作業を中断して至福のひと時。それからお昼ごはんまでの小一時間をごんばられます。

以前、菊池支援学校のお隣に「熊本県雇用支援センター」という訓練センターがありました。そこでは、毎日の当番さんが来客者にお茶の接待をするというのが決まりでした。なかなかいい取り組みだと思いました。当然のこと挨拶もきちんとしなくてははいけませんし、お茶を出すマナーも覚えなくてははいけませんからね。それよりも、自分の仕事と意識して取り組んでおられることが大事なんだなあと思いました。